

護身術・防犯対策の 研修会を開催しました



岡山南警察署の方々から、学校周辺含めた南区や北区での施錠忘れの就寝時侵入、暗い夜道での女性被害などの実際を聞き、「もしものための護身術」を教えてくださいました

<被害に遭わないために>

☆警戒心を持つ「自分は大丈夫と思わない」

☆広く明るい道を選ぶ

☆時々周囲を確認する

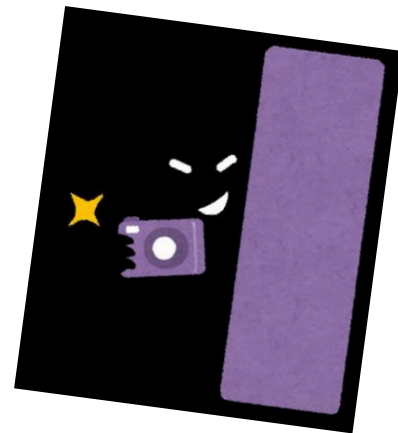
☆お風呂は窓を施錠する(窓の隙間から盗撮)

☆訪問者は用件を確認し、むやみに開けない

<被害に遭いそうになったら>

☆早期通報をする (110番)

⇒次の予防につながる



「もしもの護身術」の実際を 見せていただきました

やあーっ!!



襲われた時のポイント

- ・転倒防止と力を出しやすくするため
片足を1歩引く
- ・1度で振りほどけなくても、2度、3度と
繰り返す
- ・相手の足を踏みつける そして…
やっぱり逃げる！ 大声を出す！

くっ苦しい



こんな時は
まず気道確保

後ろから首を絞められたら、
両手で相手の腕を引き下げ、
顎を引いて気道を確保する

- <被害者・加害者にならないために>
- ☆闇バイト:むやみに応募しない
- ☆SNS:出会い系サイトに登録しない
- ☆薬物に手を出さない、誘わない
- ☆サポート詐欺:PC警告音に慌てて指示に従わない



襲われそうになったときは、攻撃より距離をとる

☆大声を出す

☆すきを見て逃げる

肘を狙って..

さすまたは
膝カックン！



さすまたは相手の低い位置を狙い動きを止める、距離をとる、後ろから膝を狙うのが効果的



片手をつかまれたら肘を相手の前腕にあてながら手首を抜くそして逃げる

* さすまたとは、叉護杖(さごじょう)とも呼ばれ、長さ2~3メートル程度の柄に

大きなU字型の金具がついた護身用具で今回、学校のものを使って実践していただきました

岡山南警察署の方々、岡山赤十字病院保安の方々
ありがとうございました